



災害時の物資供給や避難所等としての使用に関する協定を締結させていただきました。

(左から、株式会社コメリ様、マンテンホテル株式会社様、株式会社アクティオ様)

ごあいさつ

令和2年8月6日

「令和2年7月豪雨」により九州地方をはじめとする西日本や中部地方において、そして、7月下旬には、東北地方でも河川の氾濫など甚大な浸水被害が発生しました。犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

梅雨明けが待ち遠しいほどの長い梅雨でした。幸いにして、この間、本市での被害はありませんでしたが、危機管理では最悪の事態を想定することが大切とされています。今年3月に見直しました本市『洪水ハザードマップ』は、「1000年以上に1回の確立の大雨」を想定して、浸水想定区域図を作成しています。

自分たちが住む地域の特性や、避難場所の確認、そして安全な避難ルートに日ごろから関心をもつことは、いちばん身近な防災対策です。それが、万が一のときに「命を守る行動」につながります。『洪水ハザードマップ』は、広報野々市5月とあわせて、各家庭へお配りさせていただき、市ホームページでも確認することができますので、「日ごろの備え」として、ぜひご活用ください。

1日の感染者数が全国で1,000人を超える日が続く新型コロナウイルス感染症は、第2波が到来したとも思える状況になっています。県内でも、日によっては感染者が報告され、あらためて感染力の強さと「3密」を防ぐことが、いかに大切かということ認識させられます。

本市では、5月の臨時議会、6月定例議会に引き続き、7月にも臨時議会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策として、感染症の拡大防止と、市民生活と地域経済の支援に対応した補正予算といたしました。

とりわけ、小中学生の皆さんには、新学期早々の長期休校や、夏休みの短縮、それに加え、スポーツランドの屋外プールが使えないことや県内の海水浴場も一部開設されないことなど、窮屈で物足りない思いをされていることと思います。そのような中で一人一万円の図書カードと夏用マスクの配布をさせていただきました。好きな本や自由研究機材の購入などに、図書カードを活用していただき、充実した夏休みを過ごしていただきたいと思っております。

また、市商工会が実施するプレミアム付き商品券事業への補助など、本市経済の活性化に繋がりますよう予算の追加をさせていただきました。

本市「愛と和花のギャラリーののいち椿館」と「椿山」を含めた野々市中央公園が「国際優秀ツバキ園」として認定いただきました。本来であれば、今年3月に長崎県五島市で開催の「国際ツバキ会議」で決定される予定でしたが、会議が中止されたことから、書面議決を受け、この度の発表となりました。

国際ツバキ協会が認定する「国際優秀ツバキ園」は、世界で60園あり、うち日本では、すでに8園が認定されており、今回の野々市中央公園は本州初の認定となります。先日の住みよさランキング全国1位に続く朗報に、大変嬉しく思っております。

椿館や椿山といった施設が認められたこと、住みよさランキング1位ということは、大変光栄でありがたいことですが、野々市に住んでいる皆さんご自身が、「自分の住むまちが1番」と感じていただけることが、私にとって一番嬉しいことです。

「人の和で 椿十徳 生きるまち」この言葉のとおり、市民の皆さんが誇りと愛着を持って「住み続けたい」と思っていただけよう、これからも努めてまいります。